

渋川北群馬感染症発生動向調査情報（週報）

2025年第6週（2025年2月3日～2025年2月9日）

令和7年2月13日

- ★インフルエンザA型の報告が継続しています。引き続き感染対策を行いましょう。
- ★インフルエンザの報告は、継続しています。（今週：7.17、先週：6.33）
- ★新型コロナウイルス感染症の報告は、継続しています。（今週：4.83、先週：7.67）



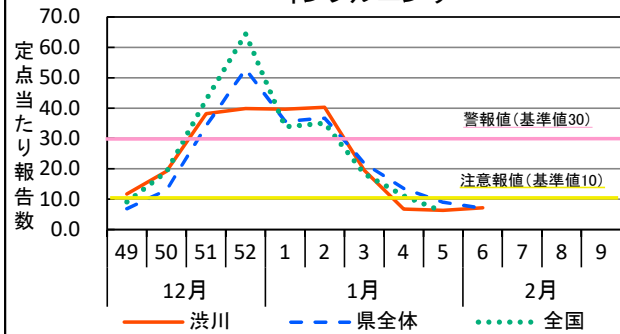
全数報告疾患

今週の届出なし

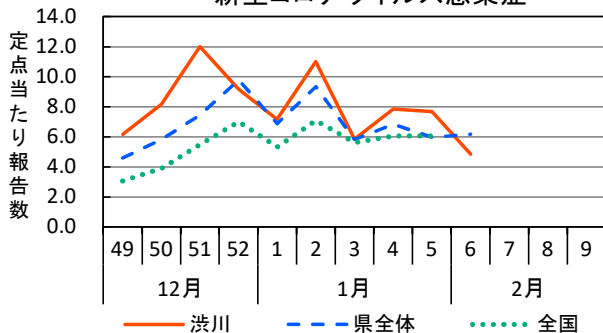
ボツリヌス菌による食中毒について

ボツリヌス菌は酸素の少ない環境で増殖し、神経症状（めまい・呼吸困難など）を引き起こす毒素を産生します。**毒素は加熱で無毒化できますが、菌そのものは熱に強い芽胞を持ち、通常の加熱や調理では死にません。**特に1歳未満の乳児は腸内で菌が増殖しやすく、ボツリヌス菌に汚染される可能性の高い商品は食べないよう注意が必要です（乳児ボツリヌス症）予防には、**食品の表示を確認し、適切に保存・加熱調理を行う**ことが大切です。また、膨張や異臭のある食品は菌が増殖している可能性があるため、絶対に食べないようにしましょう。

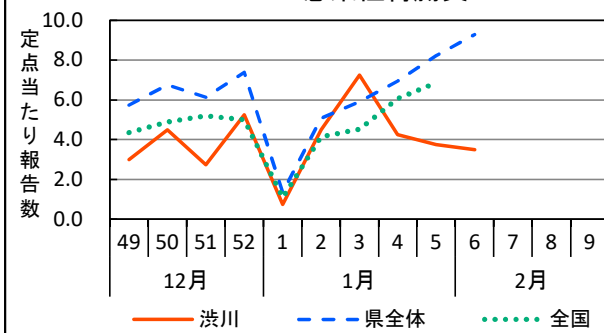
インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症



感染性胃腸炎



疾患別報告数一覧

上記グラフは、渋川北群馬地域の注目疾患について掲載しています。

インフルエンザ/COVID-19定点把握疾患及び小児科定点把握疾患			眼科定点把握疾患		
疾病名	定点当たり報告数		疾病名	定点当たり報告数	
	渋川	県全体		渋川	県全体
インフルエンザ	7.17	6.98	急性出血性結膜炎	-	-
新型コロナウイルス感染症	4.83	6.16	流行性角結膜炎	-	0.43
R Sウイルス感染症	0.75	1.49	基幹定点把握疾患		
咽頭結膜熱	-	0.36	疾病名	定点当たり報告数	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.19		渋川	県全体
感染性胃腸炎	3.50	9.28	細菌性髄膜炎	-	0.11
水痘	-	0.11	無菌性髄膜炎	-	-
手足口病	-	0.09	マイコプラズマ肺炎	-	0.78
伝染性紅斑	0.25	0.58	クラミジア肺炎	-	0.11
突発性発しん	0.25	0.19	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-
ヘルパンギーナ	-	0.02	インフルエンザ（入院患者）	-	1.56
流行性耳下腺炎	-	0.06	新型コロナウイルス感染症（入院患者）	3.00	5.44

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計しています。

図表中の「渋川」は、渋川北群馬地域を指します。

※凡例

	警戒レベル	注意報レベル
より詳しい感染症情報は 群馬県ホームページで公開しています。		



【お問合せ先】

渋川保健福祉事務所 保健係

E-mail : shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp

TEL : 0279-22-4166